

中部の未来創造大賞では次のような活動を表彰しています。

1. 住民、企業・学校、行政等が工夫して取り組んでいる地域づくりの活動で、以下に該当するもの

- 生活・自然環境の保全を行っているもの
- 景観の向上を行っているもの
- 観光資源として活用しているもの
- 地域づくりに関連した情報発信を行っているもの
- 資源の再利用を行っているもの
- 公共施設の整備にあたって、コスト縮減等に有効な新技術、新工法の研究開発を行っているもの

2. 災害時の人命救助、復旧活動や防災に関する活動

3. 伝統的な建造物の保存、復興等を行っている活動

第23回「中部の未来創造大賞」の募集 ■令和4年5月下旬に募集開始予定

選考を終えて（表彰委員より）



委員長

三重大学名誉教授

渡邊 悌爾

わたなべ ていじ

コロナ禍の厳しい状況下で、オンラインの現地調査を余儀なくされたが、応募頂いた団体は若い人たちの創意工夫や創造的な活動が多く見られ、長年の活動に賞賛を送りたい。今後とも、地域愛に基づき、未来を切り開いていって頂きたいと思います。

副委員長

駿府静岡歴史楽会 事務局代表

竹内 礼子

たけうち れいこ

人とのつながり

今年は人と人とのつながりを求める活動が多かったように思いました。困っている人を守りたい、遠くの人との結びつきを生み出したいという気持ちの温かさを感じました。長く継続されることを期待します。

委員

名古屋大学大学院教授

小松 尚

こまつ ひさし

地域を変えていく、良くしていく思いとともに必要なことは何かと常々考えます。今回は多くの活動から「時間」のもつ意義、価値が伝わってきました。コロナ禍という時間も、きっとその糧になっていくことでしょう。

委員

名古屋工業大学教授

増田 理子

ますだ みちこ

コロナ禍にもかかわらず、継続した様々な取り組みが行われていることを知り、とても頼もしく感じました。現地を見学することができず、オンラインによる審査となりましたが、頑張っている方々の力強さを感じることができました。

委員

中日新聞社事業局長

長坂 誠

ながさか まこと

幅広い年代の方々が、いろいろな形で郷土を発展させていると活動に取り組みされていることが印象的でした。SNSの利用に加えて、今回はSDGsを念頭に置いた活動が目立ちました。感染症を克服して、地域づくり活動がますます活発になるよう祈念します。

委員

(一社)中部経済連合会常務理事

栗原 大介

くりはら だいすけ

各団体ともコロナ禍で思うような活動ができない中、地域内連携で素晴らしい取り組みを進めてもらっている。とりわけ次世代を担う若い学生たちの参加が増えていることは大変喜ばしく、この輪が今後更に広がることを期待しています。

委員

国土交通省中部地方整備局 企画部長

林 正道

はやし まさみち

地域内外の方が繋がることにより課題解決をする仕組みを構築するという新たな取り組みや、学生ら若い世代が積極的に活動へ参加する取り組みなどがあり、地域の未来に期待が持てました。

今後みなさまの活動がさらに継続・発展し、この地域の持続的な発展を支えていく原動力となることを期待します。

中部の未来創造大賞推進協議会

国土交通省中部地方整備局・長野県・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県・静岡市・浜松市・名古屋市・中日本高速道路株式会社 名古屋支社
名古屋高速道路公社・独立行政法人 水資源機構 中部支社・地方共同法人 日本下水道事業団 東海総合事務所
独立行政法人都市再生機構 中部支社・公益社団法人 土木学会 中部支部・一般社団法人 中部地域づくり協会
一般社団法人 日本建設業連合会 中部支部・一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 中部支部・一般社団法人 長野県建設業協会
一般社団法人 岐阜県建設業協会・一般社団法人 静岡県建設業協会・一般社団法人 愛知県建設業協会・一般社団法人 三重県建設業協会
株式会社中日新聞社 後援／一般社団法人 中部経済連合会

FUTURE CREATION 2021

中部の未来創造大賞

主催／中部の未来創造大賞推進協議会

中部の未来創造大賞

で

検索

中部の未来創造大賞推進協議会事務局
一般社団法人 中部地域づくり協会 業務管理部

TEL (052) 962-9455

URL <https://www.cbr.mlit.go.jp/kikaku/mirai/index.htm>

